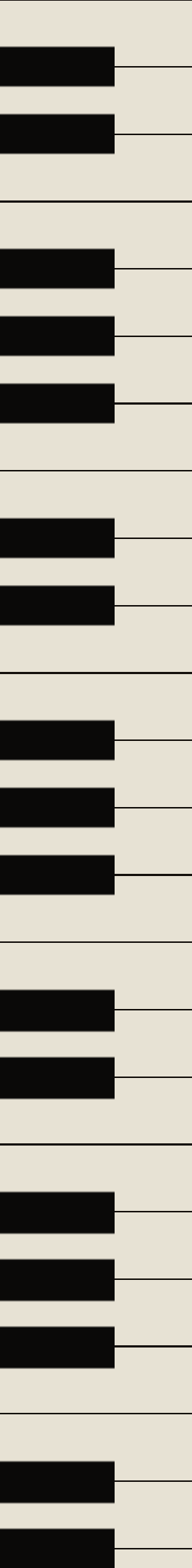


Stefano Jeff Blues

From Whisper To Fire

MINIMAL JAZZ/BLUES STORIES
FOR PIANO TRIO

STEFANO JEFF BLUES



コンセプト

このアルバムの世界は、現実と夢のあいだに宙づりになった領域に息づいている。ありえない喫茶店、ネオンサイン、行き先のない列車、ヴェルヴェットの路地、そして向きを変えるワルツが住む夜の街。

一曲ごとがひとつの小さな物語である。それぞれの曲が、時間が異なる規則にしたがう世界の断片へと扉を開き、音楽はそこで語りになる。

語りは直線的ではない。場面は、忘れられたポケットから見つかった写真のように現れ、シュルレアルの断章が次々と続いて、聴き手の想像に余白を残す。

収録曲

01 CAFÉ IN MINOR 3:17

02 DOMINOES ON THE FIFTH 3:29

03 E FLAT NEON SIGN 3:05

04 LAST TRAIN CADENCE 3:18

05 MIDNIGHT TURNAROUND 3:29

06 SIDE STREET SHUFFLE 3:14

07 SWITCHBACK WALTZ 3:26

08 VELVET ALLEY 3:19

総演奏時間: 26:37

01 CAFÉ IN MINOR

毎夜、二つの月のあいだに隠れた喫茶店で、ピアニストが幽霊たちにエスプレッソを出していた。彼らは黙って飲み、硬貨の代わりに小さなマイナーコードをテーブルに置いていった。

02 DOMINOES ON THE FIFTH

ある男がドミノの牌だけで街をつくった。その一枚を倒すと、通りは五度から五度へと転調しはじめ、やがて海のなかへ消えていった。

03 E FLAT NEON SIGN

紫色の看板が、真夜中を過ぎてはじめて現れる通りの上で光っていた。その通りをたどる者は、霧のなかに忘れられた上着のように吊られた古い記憶を見つけた。

04 LAST TRAIN CADENCE

最終列車は毎晩、存在しない駅へ向けて発った。乗客は荷物を持たず、開いた窓のあいだをゆっくりと口笛のように流れる未完の旋律だけを携えていた。

05 MIDNIGHT TURNAROUND

真夜中きっかりに街は逆さになった。街灯は下へ伸び、猫たちは星の上を歩き、眠れない者たちは橋の下で夜明けを探した。

06 SIDE STREET SHUFFLE

忘れられた横丁で、影たちが果てのないシャッフルを踊っていた。壁は古い青い煉瓦で拍を打ち、水たまりは真鍮の反射で応えた。

07 SWITCHBACK WALTZ

ワルツはヴェルヴェットの丘と、一步ごとに向きを変える階段のあいだを縫って進んだ。それをたどった者は道を忘れ、リズムだけを正確に覚えていた。

08 VELVET ALLEY

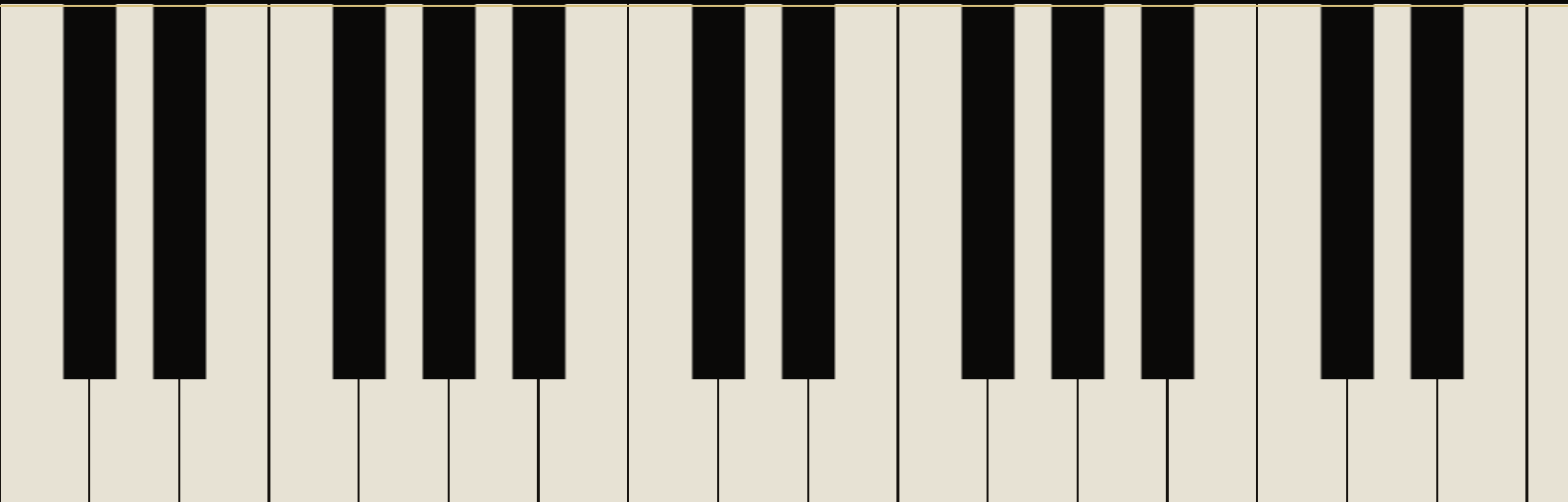
黒いヴェルヴェットの路地には、雨と煙草の香りのする薔薇が咲いていた。その道がどこへ通じるのかは誰も知らなかったが、通り抜けた者は皆、わずかに変わっていた。

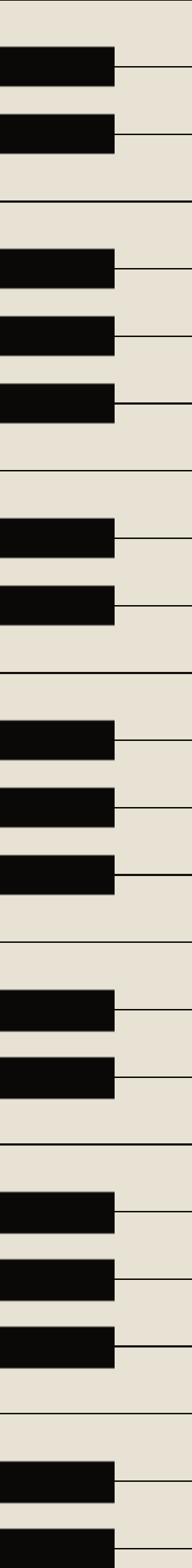
通り抜けるための場所

夜にしか訪れることのできない街がある。From Whisper to Fire は、そのひとつから来ている。

二つの月のあいだに隠れた喫茶店、真夜中を過ぎて現れるネオンサイン、存在しない駅へ向かう列車。このアルバムは、ジャズとブルースが音楽である前に語りの手段となる、架空の風景を築いている。

From Whisper to Fire は通り抜けるための場所である。幽霊がエスプレッソを飲み、列車が未完の旋律を運び、ヴェルヴェットの路地が、最後まで歩きとおす勇気を持つ者をわずかに変えてしまう場所。





STEFANO JEFF BLUES

FROM WHISPER TO FIRE

Minimal Jazz/Blues Stories for Piano Trio

全8曲 ・ 総演奏時間 26:37

録音・ミックス — Stefano Jeff Blues

写真・アートワーク — Stefano Jeff Blues